

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 615 号
2012年9月1日
発行

アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

2012年上半期 自動車生産復調

このほど発表された日本自動車工業会の数字によれば、2012年上半期（1月～6月）の四輪車生産は前年同期比153%と飛躍的に増加して、5,248,004台に達して、前年の大震災とタイ洪水の影響から完全に脱却した。

2012年上半期（1月～6月）の内需と輸出の内訳は、
国内需要 2,947,357台（前年同期比153.6%）
うち乗用車 2,525,765台（同 156.6%）

トラック 414,527台（同 137.4%）

バス 7,065台（同 136.1%）

輸出需要 2,487,975台（同 135.2%）

本年後半について、各社とも楽観論が一般的で、好調な年間生産が期待される。一方、ヨーロッパの金融不安が収まらないため需要が停滞し、さらにこの影響が発展途上国の輸出不振を招いていることから警戒感も拡がっている。

■車種別四輪車生産台数

2012年上半期（1～6月）

		台数(台)	前年同期比(%)
乗 用 車	A 普通車	2,472,646	143.2
	B 小型四輪車	1,211,614	165.6
	C 軽四輪車	846,057	181.3
	D 小計	4,530,317	154.9
ト ラ ック	E 普通車	300,856	146.5
	F 小型四輪車	136,512	137.8
	G 軽四輪車	220,861	137.8
	H 小計	658,229	141.7
I	バス	59,458	147.9
J	合計	5,248,004	153.0

■各社別四輪車生産実績

2012年上半期（1～6月）

		台数(台)	前年同期比(%)
1	トヨタ	1,869,017	176.7
2	日産	578,439	128.7
3	三菱	277,647	91.1
4	三菱ふそう	43,512	162.9
5	マツダ	419,746	117.6
6	いすゞ	124,834	145.1
7	ホンダ	587,217	220.4
8	日野	77,963	169.1
9	スズキ	554,794	139.3
10	ダイハツ	421,545	165.2
11	富士重	279,481	163.2
12	UDトラックス	12,371	119.7
13	その他	1,436	152.3
14	合計	5,248,004	153.0

第49回アスカ・セミナー 講師は伊藤達一氏に決定

アスカ工業株式会社は、昭和39年の秋に第1回アスカ・セミナーを開催して以来、秋の年中行事として好評のうちに回をかさね、本年は第49回を迎えることになった。

このほど講師が決定し、すべてのスケジュールが次のように発表された。

- ・期 日 10月12日(金曜日)・13日(土曜日)
- ・会 場 吉良観光ホテル(三河湾国定公園)
- ・セミナー **中国の最新アルミ事情**
日比野工業株式会社
代表取締役社長 伊藤達一氏

日比野工業株式会社は、ダイカスト業の中国進出の先頭ランナーとして著名で、上海日比野压铸有限公司(上海市青浦工業園区)は中国ダイカスト業界のトップ級の地位にある。

最近、新工場増設の話題も出て、一層のご発展が期待され、この度の伊藤達一社長のセミナーは大きな興味をそそるものである。

一方、中国の賃金急上昇で工場の撤退や進出の見直しの情報も伝えられ、政情の複雑さと共に理解の困難な点も甚だ多い。

このような環境の今日、伊藤達一社長をセミナーの講師にお迎え出来ることは非常に有意義で、参加者一同大いに期待するところである。

尚、セミナー閉講後、業界情報の交換の機会として例年参加者から大好評を得ている大懇親会を挙げる。

本年も例年に劣らず三河湾ワイキキビーチの夜景を眺めつつ秋の夜長を心ゆくまで楽しめるよう企画が進んでいる。

49年間にわたって、毎年秋の恒例行事のセミナーが継続して挙行してきたことは、一重にお取引先の皆様のご大きなご支援によるものでアスカ工業社員一同深くお礼を申し上げる次第である。

本年も例年以上のご参加者と、その盛会が大いに期待されることである。

(写真は会場の吉良観光ホテル)

第24回 アスカ ゴルフ・コンペ



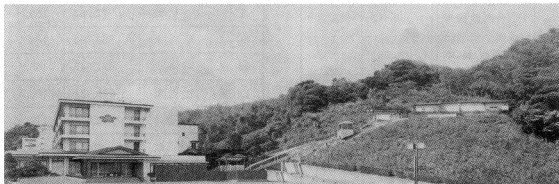
第24回アスカ杯ゴルフ・コンペは次のように挙行予定となり、多数のご参加お申込みをお待ちしている。

日 時 10月13日(土曜日) 8:30スタート
(8:00集合)

場 所 吉良カントリークラブ
電話 0563-32-2111
(セミナー会場より車で約5分)

費 用 参加料 ¥5,000
(プレイ代は各自負担)

賞 品 優勝、B B賞、その他賞品多数



6月生産

アルミ鋳物
ダイカスト 回復つづく

経済産業省がこのほど発表した2012年6月の金属製品統計によると、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比14.2%増の36,602トン、アルミダイカストは前年同月比10%増の84,844トンで、2品種ともに11ヶ月連続の前年同月比プラスを記録した。

品種別では、アルミニウム鋳物の輸送機械向けが自動車の生産好調に支えられて11ヶ月連続の前年同月比プラスを示した。さらに、その他向けも8ヶ月ぶりに前年水準を上回った。

一方、一般機械向けは中国・韓国製のシェア拡大で弱電の分野が低迷し、半導体製造装置分野で欧州金融問題の長期化で不振が引きつづき、14ヶ月の連続マイナスとなった。

アルミダイカストは主力の自動車向けが引きつづき

6月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位: トン、%)

	12年6月	12年5月	前年同月比
鋳物	36,602	33,566	14.2
一般機械	659	636	-13.7
輸送機械	34,931	32,153	13.0
その他	1,011	776	0.9
ダイカスト	84,844	78,788	10.0
一般機械	3,008	2,935	-16.2
電気機械	1,454	1,429	-9.5
自動車	75,794	69,879	13.7
二輪車	2,428	2,439	-13.4
その他	2,161	2,106	-9.8

好調で、11ヶ月連続のプラス。堅調な内需や輸出の回復が要因となった。

二輪車向けは生産台数の減少幅が大きく響き、1年ぶりに前年水準を下回り、現地生産加速の影響とみられている。一般機械向け、電気機械向けも前年水準を下回った。

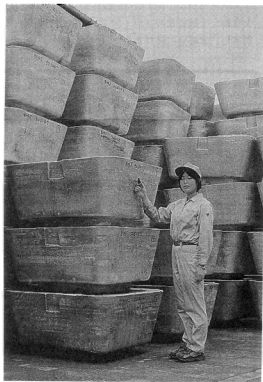
CAN TO CAN
トップ・シーズン

例年にない異常な猛暑を経験して、ビールをはじめ各種の飲みものの消費が爆発的に増加し、使用済みアルミニウム飲料缶の発生が急増している。

本年のアルミニウム飲料缶の総需要は、188億缶の最高水準とアルミ缶リサイクル協会は予測しており、従って使用済み缶の発生も最高水準を記録する。

例年9・10月はアルミニウム缶リサイクルの超繁忙期となる。アスカ工業株式会社では最新の缶処理工程が稼働し、高能率で高品質のリサイクル・インゴットが生産され、圧延工場へ出荷されている。圧延されたアルミニウム板は製缶工場へ缶に加工されてビールなどが充填され店頭に並ぶ。

写真は圧延工場への出荷を待つ大型インゴット。



大提灯まつり

西尾市一色町諏訪(すわ)神社で、8月26日、27日天下の奇祭「大提灯まつり」が行われた。

その昔、この辺りの海岸に出没した海魔の退散を祈願した大かがり火が起源と伝えられ、12張りの大提灯に大口一ソクで点火する時が最高潮。(写真・右)



社内情報

- ◎第49回アスカ・セミナーの講師は、日比野工業株式会社伊藤達一社長様に決定いたしました。ご多忙中のご出講に感謝申し上げます。
- ◎経験したことのない猛暑となりました。連日使用済みアルミニウム缶が大量に入荷しています。
- ◎吉良ワイキキビーチで8月27～31日にハワイアン・フェスティバルが開かれ、ハワイのプロ・ダンサーを含め、千数百名のプロ・アマ・ダンサーが集って競演し、大盛会に終わりました。

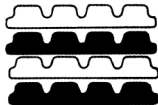
編集後記

- ☐残暑お見舞いを申し上げます。新涼のさわやかな風の到来が1日も早いことを切望しています。
- ☐第49回アスカ・セミナーは、着々準備が進んでいます。大勢様のご参加を得て、盛大に挙行できますよう、ご来場をお待ち申し上げます。
- ☐当社宛の住所が、まだご訂正いただいていない郵便物があります。
- ☐ご面倒でございますが、新住所へのご訂正をご確認願います。

アルミ缶リサイクルリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録
アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL (0563) 77-0500 内
FAX (0563) 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>